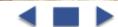
神戸の地層を読む 2 © Itaru Hashimoto & Yasuo







1.いろいろな時代の地層





現在の学園都市 1998年、神戸外国語大学から西方を写す。

造成中の学園都市 1982年、現在の小寺大池上空から東方を写す。

一口に「地層」といってもさまざまな時代、さまざまな種類のものがあります。神戸には いったいどんな地層があるのでしょうか。

地層のできた時代によって6つにまとめることができます。

沖積層(1.5万年前~現在)

段丘層(10数万年前~1.5万年前)

大阪層群(200万年前~10数万年前)

神戸層群(3500万年前)

有馬層群(7500万年前~7000万年前)

丹波層群(3億年前~1億500万年前)

このほかに神戸には、六甲山地を作っている花こう岩(7500万年~7200万年前)が あります。

それぞれの地層のできた年代が1けた(10倍)ずつ違うことがわかります。私たちの目は 遠くにあるものは、ぼんやりとしか見えず、近くにあるものはくわしく見ることができます。 同じように、地層の示す大地の歴史についても、現在に近いほどくわしいことがわかります。

私たちがこの本でくわしく書くのは、このうち「大阪層群」と呼ばれる地層ですが、神戸で 見られるいろいろな時代の地層を簡単に説明しておくことにします。

	地質	6 時	代		生物史	年代(万年前)	地層の名前
新生代	第四紀 新第三紀 古	完更新世雄中第	新後中前新新	期	人類の時代 ほれ 類の時代	1万 -170万 -500万 -2500万 -6500万 -	沖積層 段丘層(西八木層) 大阪層群 → 神戸層群
中生代	自 ジ 三	亚 -2 	ē	紀紀	ハ _{虫類の時代}		(花こう岩) 有馬層群 ↑ 丹波層群
古先	カン	生 ブリ		代代	無類・両生類 の時代 無セキツイ動物 と無生物の時代	— 2 億5000万— — 5 億7000万—	ı



神戸の自然シリーズ 17 神戸の地層を読む2